

平成27年度事業計画書の変更

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

I 公益目的事業

1 研究事業

事業名	事業の内容
1. 南九州太平洋沿岸海域における船舶の地震津波対策に関する調査研究	東日本大震災を受け「大地震及び大津波来襲時の航行安全対策に関する調査研究」（日本海難防止協会報告書 H26・4）を踏まえ、主に港内在泊船舶及び港内航行船舶への望ましい対応について、手引きが作成され、南九州太平洋岸の各港の津波対策協議会の会則が改正されたところであるが、港域外を航行する等船舶に対する安全対策が策定されていないため、今回南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されている細島港、宮崎港、油津港、志布志港の港外航行船舶の避難海域及び避難海域への航行安全対策を検討し、被害の極小化を図ることを目的とする。

2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画に改訂に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 港湾工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	海上工事に關し、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。 さらにホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等航行安全支援業務を実施する。

事業名	事業の内容
2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 海難防止啓蒙活動	海難防止啓蒙ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓蒙活動を支援する。また、年間3万人を超える来館者がある海事広報展示館の資料等の充実を図り、海難防止活動の推進を図る。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者に対し、海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 年4回、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 関門海峡を中心とした映像等により安全な航行のための周知宣伝を実施する。

II 収益目的事業

調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定船舶の入港に係る解析調査	特定船舶の入港に関し委員会報告書に基づく入港基準と航跡を解析調査する。
2. 特定船舶大型化等に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化等に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

Ⅲ 会の運営

名 称	内 容
1. 定時総会	6月下旬に開催する。
2. 通常会理事会	第1回理事会を5月下旬、第2回理事会を6月下旬、第3回理事会を11月中旬、第4回理事会を2月中旬に開催する。
3. 業務運営会議	5月、7月、9月、10月、11月、1月、2月に開催する。